

都市事例調査報告

平成23年第3回定例会で議決を得た都市事例調査を、民主クラブ議員8名が鹿児島市の観光農業振興事業（主にグリーンツーリズム）、西之表市の企業誘致、竹田市の農村回帰宣言（主に移住・定住）について実施しましたので報告いたします。

鹿児島市のグリーンツーリズムは、九州新幹線の開業を見据え地域資源や観光施策を充実し、人・もの・情報交流を促進させる事を目的としています。推進体制としては、グリーンツーリズム推進課を新設し都市と農村の交流を図っています。特に農家民泊は、受け入れる地域に対しては生きがいづくり等の地域住民の活力、一方生徒は農業体験を通じ、食の大切さや仲間への思いやりの心が育まれる等の効果が期待され、受け入れ実績も年々増加し本年度は1万人が見込まれています。

西之表市は、離島に位置する不利な条件下で若い世代の流出を防ぐため産業振興、雇用確保



民主クラブ都市事例（竹田市にて）

を目的とした企業立地促進条例を施行し、様々な補助金制度を確立し雇用促進を図っています。

竹田市の農村回帰宣言は、市長の公約であるTOP運動を基に、市独自の市ならではの政策をもって地域再生を果たそうとする事業です。過疎化に伴い増加する空き家、荒廃する田畑の負の遺産を逆手に取り、団塊の世代や田舎暮らしを求める人達を竹田市へ移住・定住を促す政策です。様々な施策があり、また新たに子育て定住促進事業が計画されています。竹田市では相談窓口の一元化を図り、市民も積極的に参加し、竹田市独自の考えを持ち竹田市ならではの移住・定住事業を行っています。

議会報告会

■議会報告会は相互信頼社会へ切り替える力に

富良野市議会では、議会改革の柱に「開かれた議会・衆知を集める議会・行動する議会」を基本に、機能の充実の一環として開催している議会報告会を、9月までに6会場において開催してきました。

なお、9月以降12月7日までには朝日町会館・末広コミセン・東部児童センター・西地区コミセン・北の峰コミセン・布礼別集落センターで開催し、市民の皆さんから議会に対して貴重な御意見などを頂きました。

主なものとしては、9月2日の集中豪雨時の一部地域の避難勧告の避難場所が遠すぎる、防災計画での避難所の再検討、緊急的に近距離の場所に避難したい、避難弱者支援とプライバシー問題などの災害時におけることが数多く出されました。

さらに、特定診療引き上げ経緯、北の峰地域の振興策、移住



12/9 布礼別集落センター

対策、高速通信対策、東郷ダムの今後、学校配置と交通手段、今後のまちづくりについて等の質疑・意見も交わされました。

議会に関しては、9月定例会における富良野スキー場開設50年記念に関わる補正予算審議内容と同予算に係る臨時議会の議論経過と根拠の質疑があり、議決までの経過を説明しました。

また、議会報告会は貴重な場であり、議会活性化のためにも呼びかけに工夫し参加者を増やすべきなどの御意見も頂きました。

御意見等については、全体会議を開催して議員全員で共有し、第4回定例会で防災対策など、一般質問に反映しました。